

月の沢龍神街道 スノーアートフェスティバル



▲立谷沢川の龍神伝説にちなんだ龍の雪像

今年で4回目を迎える『月の沢龍神街道スノーアートフェスティバル』が同フェスティバル実行委員会主催で、2月16日（土）～17日（日）に北月山荘周辺で開催されました。スノーランタンやスノーキャンドル、雪上カルタ、雪の滑り台など、約1,500人の来場がありました。

当出張所では、北月山荘大広間に広報コーナーを設けてパネル展示を行いました。



▲雪の滑り台で遊ぶ子供たち



▲パネル展示

◆平成24年度最上川水系直轄砂防事業(立谷沢川流域)◆

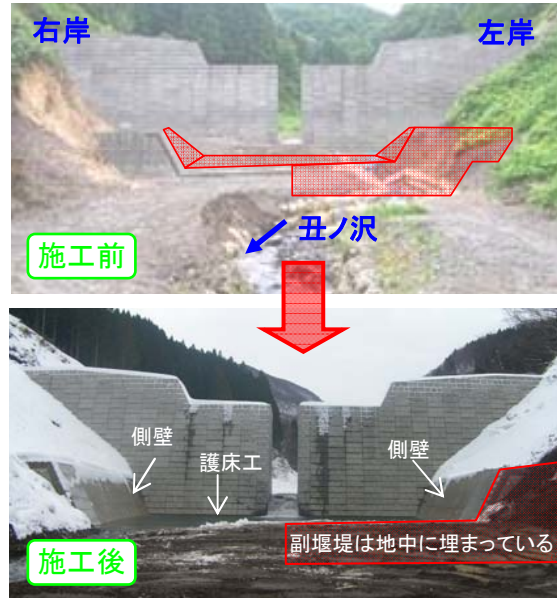
～地域住民の皆様、工事に対するご理解とご協力、本当にありがとうございました～

②丑ノ沢砂防堰堤工事

(株)カキザキ
現場代理人
沼澤 和義



昨年度に主堰堤と右岸側副堰堤が完成しており、今年度は左岸側副堰堤・左右岸の側壁・護床工を施工しました。生息する動物に配慮して、7月上旬と遅い時期から工事を開始し、※コンディショニングを実施しながら3月下旬に現地作業を終了しました。



④本沢第二砂防堰堤改築工事

升川建設(株)
現場代理人 増川 隆敏



既設砂防堰堤の機能向上のため嵩上げ工事を行っており、今年度は既設橋を撤去し右岸側を完成形まで立ち上げました。左岸側は来年度完成予定です。7月初旬から、まず堰堤に行くまでの工事用道路を補修し通行できるようになってから堰堤の嵩上げ工事にとりかかり、11月中に無事現地作業を終了しました。夏は猛暑で仕事は大変でしたが、大雨による被害が少なく仕事を順調に進めることができました。



⑦立谷沢川流域濁沢川整備工事

(株)柿崎工務所
現場代理人
今田 康志



濁沢第4砂防堰堤の袖部復旧及び第8砂防堰堤周辺の除石を8月から12月まで行いました。除石土砂の有効活用として、軟弱な土砂を土質改良して強度を高め、濁沢第5～8砂防堰堤間の工事用道路を建設しました。

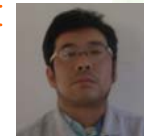


▲濁沢第4砂防堰堤の損傷した袖部復旧

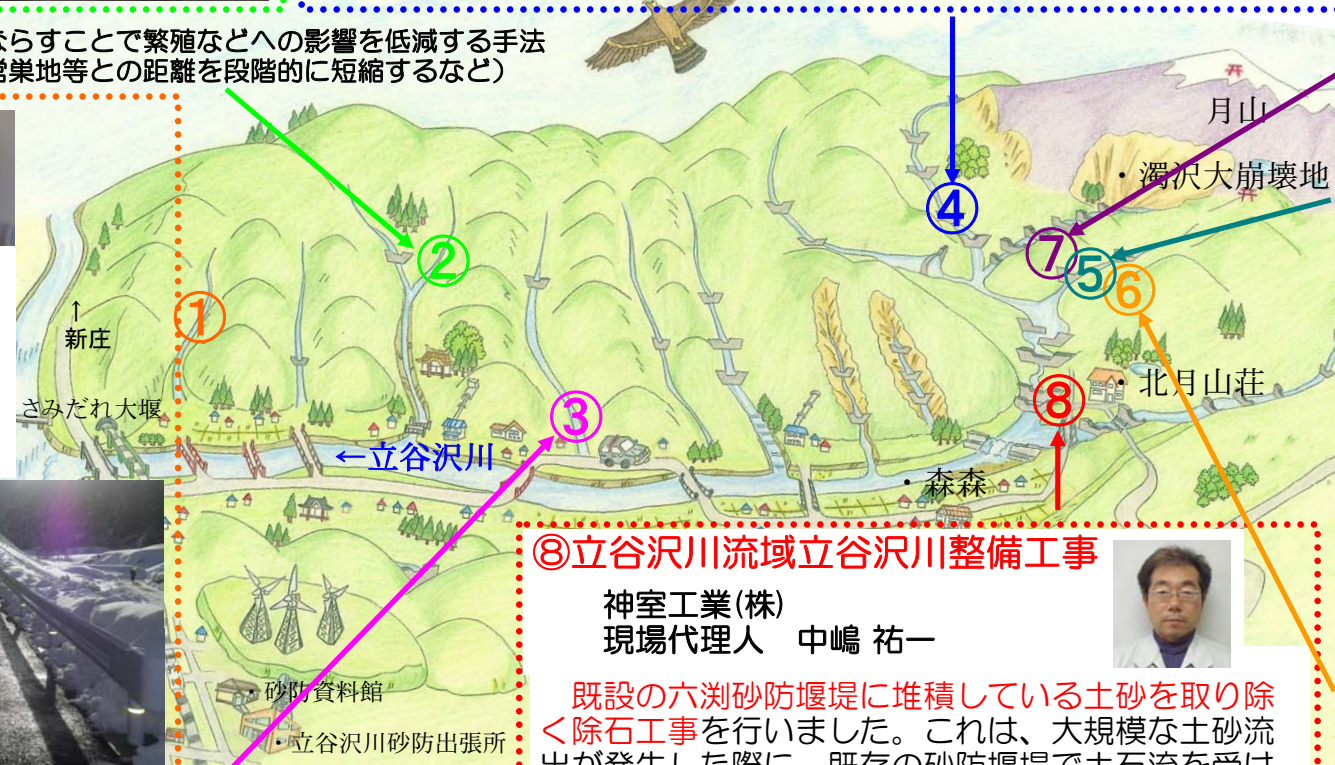
※コンディショニング…生息する動物を環境攪乱に徐々にならすことで繁殖などへの影響を低減する手法(工事・機械稼働時間を段階的に延長したり、工事現場と営巣地等との距離を段階的に短縮するなど)

①東大沢砂防堰堤管理用道路工事

佐藤建設(株)
現場代理人 富樫 剛



建設中の東大沢砂防堰堤により遮断される林道の付替工事であり、今年度は右岸側約240mを施工しました。生息する動物に配慮して、6月下旬と遅い時期から工事を開始し、※コンディショニングを実施しながら12月末に現地作業を完了しました。



⑤濁沢地区流路護岸工事

(株)柿崎工務所
現場代理人 相馬 邦行 (写真左)
監理技術者 森 直樹 (写真右)



平成23年度発生の大規模土砂崩落地の脚部を保護し、堆積土砂の急激な流出防止のため流路護岸工事を行いました。崩落斜面直下で非常に危険なため無人化施工で安全を確保しながら、昨年度は約160m、今年度は6月から11月までに約250m施工して流路護岸が完成しました。



⑧立谷沢川流域立谷沢川整備工事

神室工業(株)
現場代理人 中嶋 祐一



既設の六割砂防堰堤に堆積している土砂を取り除く除石工事を行いました。これは、大規模な土砂流出が発生した際に、既存の砂防堰堤で土石流を受け止めるスペースを確保するためです。10月から12月までに除石した土砂(約2万m³)は、延べ4,130台のダンプで搬出し、南部山村広場と新庄古口道路建設の升形IC下部工工事・津谷IC構造物工事において、地域づくりのため有効活用しました。



③科沢砂防堰堤工事

(株)柿崎工務所
現場代理人 荒川 亨



昨年度から主堰堤の施工に着手しており、今年度は6月から12月までの現地作業で主堰堤が完成しました。スリット砂防堰堤は、平常時は流れを止めることなく土砂を流下させ、土石流発生時には土石流を捕捉します。スリット部は、魚類、溪流昆虫、野生生物等が堰堤の上下流を自由に移動できるため環境に配慮した堰堤です。



⑥松沢第三砂防堰堤工事用道路工事 (今年度からの新規工事)

(株)新庄砕石工業所 監理技術者 阿部 健治



松沢流域は山腹崩壊や溪岸侵食が著しく、不安定土砂の固定や流出土砂調節を目的として松沢第3砂防堰堤を建設予定です。今年度は、砂防堰堤を建設するのに必要な工事用道路を6月から12月初旬にかけて約110mを施工しました。切土法面が非常に不安定で、掘削直後から法面が肌落ちしてくる状況で大変な苦勞を強いられましたが無事現場作業を終えました。



◆第17回 現場技術者による「安全施工技術」研究発表会◆



▲最優秀賞受賞 森直樹氏

また、山形県立新庄神室産業高校2年生13名を含む約190名が参加し、活発な質疑応答が行われ相互研さんの場となりました。

2月25日(月)新庄市民プラザにおいて、現場技術者の施工技術の向上・研さんを図るため、当事務所事故防止対策委員会と事故防止安全対策協議会主催で開催されました。今年は52題の応募のなかから、事故防止対策委員長・副委員長2名と齋藤剛光 新庄労働基準監督署長と山形県最上総合支庁 松田正 建設部長が「テーマの着眼点」「論文の内容」「独創性」「発表力」を審査し、当出張所工事からは2名が受賞しました。



▲質問をする新庄神室産業高校2年生



▲優秀賞受賞 石塚徹氏

おめでとうございます!

最優秀賞 「大規模崩落地直下での安全施工について」

～立谷沢川流域濁沢地区流路護岸工事～

株式会社 柿崎工務所 監理技術者 森 直樹さん



この度、最優秀賞を受賞することができ、大変嬉しく思っております。今回の工事は昨年度から引き続いての災害対策であったため、開始直後から気を引き締めて施工に取り組みました。特に、崩落斜面が豪雨等により再度崩落する危険性があったため安全対策が重要でありました。監視員およびビデオカメラにより崩落斜面の変状を監視するとともに、緊急時には携帯電話も通じないため同時通話可能な無線機を携帯させて作業員の連絡体制を確保することで、無事故で完成させることができました。

優秀賞 「工事用道路の安全確保及び連絡体制について」

～立谷沢川流域砂防工事用道路補修工事～

佐藤建設 株式会社 現場代理人 石塚 徹さん



この度、優秀賞という大変栄誉のある賞を頂き、大変嬉しく思います。私が担当した工事は立谷沢川流域全体を管轄するものです。流域内では多くの工事が錯綜するため、毎年度「立谷沢川流域工事安全対策協議会」を立ち上げており、関係各社と情報共有を図り全体調整を行いながら工事を進めております。特に、月山林道や本沢工事用道路の通行の安全確保に努め、緊急時の下流域工事への連絡体制を構築することで、「安全優先」に心がけ無事故で完了することができました。

「さきちゃんだより」

砂防の「さ」の由来
希望の「き」

をとり、親しみが持てるよう「さきちゃんだより」とネーミングしました!



《立谷沢川砂防出張所／砂防資料館》

〒999-6601
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
TEL 0234-56-2050
FAX 0234-56-2081

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou>
立谷沢川砂防出張所ページをご覧ください

～砂防資料館～
開館日：※土日・祝日は閉館しております。
※ご利用の際は事前にご予約ください。

